

速達書留電報		区分		(公開)		部分公開		非公開		公開可能時期	
配達証明 航空便		非公開部分								施行後	
内容証明											
審査		浄書		校合		浄書部数		非公開理由		公開審査	
										施行	
分類記号 450				起案 昭和 61 年 5 月 21 日				施行 昭和 61 年 6 月 16 日			
保存年限 10 5 3 1				起案者氏名 伊藤俊典				郵送 手渡し			
文書番号 (1) 第 24 号				精神衛生担当 (係) (電話 3231 番)							
あてな () 經由				発信名 知事 副知事 出納長 参事 部長 局長 県 () 長 氏名							
題名 保健所における精神科通院医療中断者保健サービス事業の実施について (通知)											
衛生部長 (印)											
衛生部次長 (印)											
衛生部技監 (印)											
総務課長 (印) 課長補佐 (印) 主査 (印)											
総務課長 (印) 課長補佐 (印) 主査 (印)											
保健課長 (印) 課長補佐 (印) 主査 (印)											
保健所における精神衛生業務については、「愛知県保健所精神衛生管理要領・精神衛生訪問指導要領・精神衛生相談員業務要領」により実施しているところですが、このたび厚生省から別添 (印) のと											

愛 知 県

速達書留電報		区分		公開		部分公開		非公開		公開可能時	
配達証明		航空便		非公開部分						施行後	
内容証明											
審査	浄書	校合	浄書部数		非公開理由				公開審査		印
分類記号 450				起案 昭和 61 年 5 月 21 日				施行			
保存限 10 5 3 1				起案者氏名 伊藤俊典				61.6.16 日			
文書番号 117 第 24 号				精神衛生担当(係)(電話 3231 番)				郵送 手渡し			
あてな				発信名							
() 經由				知事 副知事 出納長 参事 部長 局長 県				() 長 氏名			
題名 保健所における精神科通院医療中断者保健サービス事業 の実施について (通知)											
衛生部長 印											
衛生部次長 印											
衛生部技監 印											
総務課長 印 課長補佐 印 主 査 印											
総務課長 印 課長補佐 印 主 査 印											
保健課長 印 課長補佐 印 主 査 印											

保健所における精神衛生業務については、「愛知県保健所精神衛生管理要領・精神衛生訪問指導要領・精神衛生相談員業務要領」により実施しているところですが、このたび厚生省から別添の

愛 知 県

おし通知がありました。

つきましては、本県として、精神障害者の継続的な通院医療の重要性に鑑み、在宅医療等の一層の促進を図るため、別紙(案)のとおり「愛知県保健所精神衛生訪問指導要領」を全面的に改正して、本事業を実施することとしてよろしいか。

なお、ご決議のうえは案の1~3により通知してよろしいか。

記

- | | | | |
|----------------|------|-------|-----|
| 1 各保健所長 | あて | _____ | 案の1 |
| 2 各精神科医療機関管理者 | あて | _____ | 案の2 |
| 3 愛知県医師会長 | | | |
| 愛知県精神病院協会長 | } あて | _____ | 案の3 |
| 愛知県精神神経科診療所医会長 | | | |

(参考)

予算の執行にあたっては、国から示されていませんが、一般対策事業費(17.6PG+14)の中で執行する予定です。

年 月 日

保健所長 殿

所在地(電話)

医療機関名

管理者氏名

印

精神科通院医療中断者の訪問指導をお願いします。

患者	病 名			
	フリガナ氏 名			
	住 所		電話	
	最後の受診日	年 月 日	備考	
	過去の入院歴	年 月 日 ~ 年 月 日 年 月 日 ~ 年 月 日		
保護義務者	フリガナ氏 名		続柄	
	住 所		電話	
訪問指導に意あ事た項	主治医氏名		了解した者の氏名	
	通院中の状態及び家族の状況			
	その他留意事項			
	備 考			

各保健所長殿

衛生部長

保健所における精神科通院医療中断者保健サービス事業
実施について（通知）

保健所における精神衛生業務については、^{（愛知県保健所精神衛生管理要領）}
精神衛生訪問指導要領^{（及び）}精神衛生相談員業務要領により実施しているところですが、このたび^{（厚生省保健医療局長が昭和61年5月15日付で保健所オレ8号で）}
~~厚生省保健医療局長が昭和61年5月15日付で保健所オレ8号で~~別添のとおり通知がありましたので、

~~つきましては~~、本県としても、精神障害者の継続的な通院医療の重要性に
~~鑑み~~^{（かんがへ）}、別紙のとおり「保健所精神衛生訪問指導要領」を改正して、本事業を実施し、在宅医療等の一層の促進を図ることとしましたので、下記の事項に留意のうえ、その円滑な実施について遺憾のないようにしてください。

なお、精神科医療機関の管理者には、別添（写）のとおり通知しました。

記

1 精神科医療機関からの通院医療中断者に対する訪問指導の依頼は、文書
(別紙様式)により受け付けること。

ただし、緊急を要する場合は電話により受け付け、後で依頼文書を受理すること。

- 2 精神科医療機関から通院医療中断者の訪問指導について依頼があった場合は、速やかに当該~~医療機関~~と連絡をとり、訪問指導の適切な実施に努めること。
- 3 訪問指導に当たっては、精神科医療機関等の関係諸機関と緊密な連携を図ること。
- 4 訪問指導に当たっては、対象者とその家族等の了解のもとに行うこと。
- 5 訪問指導に当たっては、対象者とその家族等の秘密保持に十分に配慮すること。

添付書類

厚生省通知の号

改正後の保健所訪問指導要領

精神科医療機関管理者あての通知の号

精神科医療機関名簿

別紙様式(訪問指導依頼書)

61医第247号
昭和61年 月 日

各精神科医療機関管理若様

愛知県衛生部長

保健所における精神科通院医療中断者保健サービス

事業の実施について(通知)

このことについて、^{昭和61年5月15日付中健発第618号で厚生省保健医療局から}厚生省から別添のとおり通知がありましたので、
本県においても、これに対応するため、別添の「愛知県保健所精神衛生訪問指導要領」に基づき、本事業を実施し、在宅医療等の一層の促進を図ること
としました。

つきましては、精神障害者の継続的な通院医療の重要性に^{かんけい}鑑み、本事業が円滑に実施されるよう、下記の事項に留意のうえ、関係保健所への依頼を行うようにしてください。

記

1 本事業の対象者は、次の要件に該当する者とする。

- (1) 精神科医療機関において、訪問指導を要すると認めた通院医療中断者であること。
- (2) 当該医療機関から職員を派遣することが困難な者であること。
- (3) 当該医療機関において、保健所職員の訪問について、通院医療中断者又はその家族等の了解を得た者であること。

2 訪問指導の依頼は、対象者の居住地を管轄する保健所へ文書(別紙

様式)により行われたいこと。

ただし、緊急を要する場合は、電話でも差し支えないが、その場合は、
後で依頼文書を送付されたいこと。

- 3 保健所に対し、対象者の状況を十分に伝達するとともに、保健所と
緊密な連携を図ることにより、対象者の適正な医療の確保に努められたい
こと。

添付書類

厚生省通知の写

保健所訪問指導要領

別紙様式(訪問指導依頼書)

精神科医療機関の名簿

区分 地域	精神病床を有 する病院	精神科・神経科を標 榜する病院	精神科・神経科の 診療所	計
名古屋	18 か所	10 か所	16 か所	44 か所
尾張 知多	23 (コビエ・コバと豊田は除く)	2	1	26
西三河	8	1	1	10
東三河	5	3	3	11
計	54	16	21	91

(1) 名古屋

市区 町名	医療機関の名称	電 話	所 在 地	交 通 案 内
千 種 区	愛知県立 城 山 病 院	052-763-1511	千種区徳川山町四丁目1番7号	市バス「城山病院前」(地下鉄 「本山」より乗りかえ)徒歩1分
	杉 田 病 院	052-781-0433	千種区田代町瓶杣1-44	地下鉄「星ヶ丘」より徒歩3分
	池下クリニック	052-763-0127	千種区高見1-26-4 タカミ光ビル2階	市バス・地下鉄 「池下」より徒歩4分
	大橋クリニック	052-732-2773	千種区内山三丁目25-6 千種ターミナルビル3階	国鉄・地下鉄千種駅すぐ前
	田所クリニック	052-731-2627	千種区今池五丁目2番3号 共栄ビル3階	市バス・地下鉄 「今池」より徒歩2分
東 区	名古屋大学医学部 附属病院分院	052-723-1111	東区大幸町一丁目1番地4	市バス「名大分院前」下車
北 区	楠 第 一 病 院	052-901-7581	北区五反田町110番地	市バス「新川中橋」より徒歩5分
	野 口 医 院	052-981-8880	北区清水5-21-30	市バス「西杉町」より徒歩3分
	山 家 医 院	052-981-3270	北区柳原1-5-2	地下鉄「名城公園」より徒歩5分
中 村 区	北 林 病 院	052-411-6541	中村区中村町7-60	市バス・地下鉄 「中村公園」より徒歩3分
	名古屋 第一赤十字病院	052-481-5111	中村区道下町3-35	地下鉄「中村日赤」より徒歩3分
	名古屋鉄道病院	052-452-3809	中村区大園一丁目19番40号	名古屋駅より徒歩10分
	木 村 神 経 科	052-561-0666	中村区名駅三丁目23-6 第二千福ビル6階	名古屋駅より徒歩5分
	仁愛診療所	052-451-7141	中村区名駅一丁目3-7 新幹線高架下グリーンショップ内	名古屋駅より徒歩3分

市区町名	医療機関の名称	電 話	所 在 地	交 通 案 内
昭 和 区	精 治 療 病 院	052-741-1231	昭和区鶴舞四丁目16番27号	市バス地下鉄「荒畑」より徒歩2分
	名古屋大学医学部 附 属 病 院	052-741-2111	昭和区鶴舞65番地	国鉄・地下鉄鶴舞駅より徒歩3分 市バス「病院正門前」
	聖 霊 病 院	052-832-1181	昭和区川名山町56	地下鉄「秋中」より徒歩1分
	高 橋 病 院	052-871-5641	昭和区門上町1-30	市バス「門上」すぐ前
	神経科 福智クリニック	052-852-7200	昭和区御器所通2-24	市バス・地下鉄 「御器所」より徒歩5分
瑞穂区	名古屋 市立大学病院	052-851-5511	瑞穂区瑞穂町字川澄1番地	市バス「市大病院正門前」より 徒歩1分
中 川 区	松 蔭 病 院	052-352-3251	中川区打出二丁目70番地	市バス「打出町」より徒歩5分
	名古屋 掖 済 会 病 院	052-652-7711	中川区松年町4の66	市バス「玉船町三丁目」より 徒歩5分
	名古屋保健衛生大学 ばんたね病院	052-321-8171	中川区尾頭橋三丁目6-10	国鉄・地下鉄金山駅 名鉄金山橋駅より 徒歩16分
港区	中部労災病院	052-652-5511	港区港明一丁目10-6	市バス・地下鉄「港区役所」 より徒歩10分
南 区	愛 精 病 院	052-821-7701	南区曾池町4の28	国鉄笠寺駅より 徒歩15分 名鉄本等寺駅より 徒歩10分 市バス「大磯通」より徒歩1分
	社会保険 中 京 病 院	052-691-7151	南区三条町1の23	名鉄道徳駅より 徒歩20分 地下鉄「伝馬町」より徒歩10分 市バス「南陽通2丁目」より徒歩3分
守 山 区	国立療養所 東 尾 張 病 院	052-798-9711	守山区大字吉根長廻間3248	名鉄瀬戸線旭前駅より徒歩20分
	守 山 荘 病 院	052-791-2133	守山区大字守山字北山6	国鉄新守山駅より徒歩10分、名鉄瀬戸線守山白 河駅より徒歩7分、市バス・名鉄バス・国 鉄バス「守山図書館」より徒歩7分
	桂 仁 病 院	052-771-2151	守山区大字森孝新田字元補1	市バス「四軒家」「三軒家」・名鉄 バス「四軒家西口」より徒歩5分
緑 区	名古屋市立 緑 市 民 病 院	052-892-1331	緑区潮見が丘一丁目77	名鉄本線鳴海駅より徒歩15分 市バス「緑市民病院」すぐ前
天 白 区	八 事 病 院	052-832-2111	天白区天白町大字八事字裏山70	地下鉄「塩釜1」より徒歩3分
	武内クリニック	052-803-1233	天白区天白町島田山畑1505	市バス「島田」より徒歩2分
中 区	前 田 病 院	052-261-7171	中区栄4-13-1	地下鉄「栄」より徒歩5分
	東海通信病院	052-291-6206	中区松原町2-17-5	地下鉄「大須観音」より徒歩10分
	青木クリニック	052-202-1616	中区錦2丁目16番16号 金春ビル3階	地下鉄「伏見」1番出口より徒歩1分
	国鉄名古屋病院	052-751-1111	中区三の丸4-1-1	地下鉄「市役所」すぐ東

市区町名	医療機関の名称	電 話	所 在 地	交 通 案 内
千種区	名古屋市立東市民病院	052-721-7171	千種区若水一丁目2番3号	地下鉄「池下」又は「今池」より徒歩15分
	石井クリニック	052-732-3151	千種区今池五丁目2-1 東南ビル2階	地下鉄「今池」より徒歩2分
	本山神経科	052-951-6022	千種区末盛通3-21 末盛第一ビル2階	地下鉄「本山」より徒歩4分
	打越クリニック	052-782-8558	千種区桜が丘276	地下鉄「一社」より徒歩5分 市バス「打越」すぐ前
中区	仁大クリニック	052-331-8019	中区金山4-3-1 つちやビル2階	地下鉄「金山」 名鉄「金山橋」より徒歩3分
	神野神経科	052-951-6022	中区新栄町1-3 ニサビル5階	市バス、地下鉄「栄」より徒歩2分
東区	愛知医科大学 メディカルクリニック	052-931-2261	東区東桜二丁目12番1号	地下鉄「新栄町」より徒歩7分
南区	立井病院	052-821-9221	南区安寿町(柳)木3	名鉄「安寿」より徒歩10分

(2) 尾張東部

市区町名	医療機関の名称	電 話	所 在 地	交 通 案 内
瀬戸市	愛治病院	0561-48-5000	瀬戸市下半田川町1683-8	国鉄バス「かみ田」より徒歩5分
	公立陶生病院	0561-82-5101	瀬戸市西追分町160番地	名鉄瀬戸線新瀬戸駅より徒歩5分
春日井市	愛知県心身障害者 コロニー中央病院	0568-88-0811	春日井市神屋町713-8	国鉄中央線高蔵寺駅下車、北口より バス「コロニー」行終点で下車
	晴和病院	0568-88-0284	春日井市明知町821-1	名鉄バス「大田山」より徒歩3分
	東春病院	0568-31-6248	春日井市西高山町字西高山12番地	国鉄中央線 勝川駅よりタクシー 又は名鉄バス「高山」より徒歩5分
	ひがし春日井病院	0568-82-5500	春日井市下原町字萱場1920	国鉄中央線春日井駅より名鉄・ 国鉄バス「下原」より徒歩10分
	吉川病院	0568-88-0011	春日井市神屋町706	名鉄(東鉄)バス「坂下出張所」 より徒歩1分
豊明市	桶狭間病院	0562-97-1361	豊明市栄町南館3番地879	名鉄中京競馬場駅より徒歩5分
	豊明栄病院	0562-97-5131	豊明市栄町大根1の383	名鉄前後駅より 徒歩20分
	藤田学園名古屋 保健衛生大学病院	0562-93-2000	豊明市番掛町田楽ケ窪1番地98	名鉄前後駅より バス10分
東郷町	和合病院	05617-3-1811	愛知郡東郷町大字諸輪字北木戸西 108	名鉄日進駅より 徒歩18分
長久手町	愛知医科大学 附属病院	05616-2-3311	愛知郡長久手町大字岩作字雁又 21番地	地下鉄藤ヶ丘駅より大学スクー ルバスで15分

(3) 知多、半田

市区町名	医療機関の名称	電 話	所 在 地	交 通 案 内
半田市	一ノ草病院	0569-28-1155	半田市長根町3-1	名鉄知多半田駅より知多バス 緑ヶ丘行「一ノ草」下車徒歩10分 国鉄乙川駅より徒歩10分
	半田市立 半田病院	0569-22-9881	半田市東洋町二丁目29番地	国鉄半田駅より徒歩10分
大府市	共和病院	0562-46-1375	大府市掘田町二丁目123番地	国鉄共和駅より徒歩15分
東浦町	大府病院	05628-3-3161	知多郡東浦町大字森岡 字上源吾36-105	国鉄大府駅より名鉄バス中部病 院行終点下車徒歩15分 知多バ ス知立行「森岡台」下車徒歩15分
南知多町	南知多病院	0569-65-1111	知多郡南知多町大字豊丘 字孫週間86番地	名鉄河和駅よりバス15分 「山田」下車徒歩2分

(4) 尾張西部

市区町名	医療機関の名称	電 話	所 在 地	交 通 案 内
一宮市	一宮市立市民病院 今伊勢分院	0586-45-2531	一宮市今伊勢町宮後字郷中茶原30	名鉄名古屋本線 今伊勢駅より 徒歩5分
	奥町病院	0586-62-5859	一宮市奥町字下口西89-1	名鉄玉の井線 奥町駅より 徒歩5分
	佐藤病院	0586-73-8141	一宮市今伊勢町本神戸 字無量寺東21	名鉄名古屋本線今伊勢駅より 徒歩5分
	佐藤神経科 クリニック	0586-71-2146	一宮市今伊勢町本神戸 字無量寺東22	名鉄名古屋本線今伊勢駅より徒 歩7分、名鉄バス「新開」より徒歩2分
犬山市	神経科 犬山病院	0568-61-1505	犬山市大字塔野地字大畔10番地	名鉄広美線富岡駅より徒歩20分 (犬山駅よりマイクロバス運行)
江南市	布袋病院	05875-5-7251	江南市大字五明字郷裏47	名鉄犬山線布袋駅より徒歩10分
祖父江町	尾西病院	05879-7-2131	中島郡祖父江町大字本甲 字拾町野7番地	名鉄尾西線森上駅より徒歩7分
平和町	北津島病院	05674-6-3530	中島郡平和町大字六輪 字嫁振307	名鉄尾西線六輪駅より徒歩8分
菟野町	好生病院	0560-44-3188	海部郡菟野町大字上萱津	名鉄津島線菟野駅より徒歩10分

(5) 西三河

市区町名	医療機関の名称	電 話	所 在 地	交 通 案 内
岡崎 市	羽 栗 病 院	0564-48-2005	岡崎市羽栗町字田中26,27,30 合 併 地	名鉄名古屋本線山中駅より 徒歩15分
	三 河 病 院	0564-51-1778	岡崎市戸崎町字牛転2	名鉄名古屋本線男川駅より 徒歩10分
刈 谷 市	刈 谷 病 院	0566-21-3511	刈谷市神田町二丁目30番地	国鉄、名鉄刈谷駅より徒歩10分
	世 古 口 医 院	0566-21-3511	刈谷市八幡町7-75	名鉄三河線刈谷市駅より徒歩10分
豊 川 市	衣ヶ原病院	0565-32-0991	豊田市広久手町二丁目34番地	名鉄バス「衣ヶ原」下車徒歩5分
	豊 田 西 病 院	0565-48-8331	豊田市保見町横山100番地	豊田新線 浄水駅より名鉄バス 「保見南山」下車徒歩5分
	南 豊 田 病 院	0565-21-0331	豊田市広美町郷西80番地	名鉄名古屋本線新安城駅より 徒歩30分
安 城 市	矢 作 川 病 院	0566-99-3171	安城市藤井町南山141番地	名鉄西尾線米津駅より徒歩25分
	愛知県厚生農業協同 組合連合会厚生病院	0566-75-2111	安城市御幸本町12番38号	国鉄安城駅より 徒歩3分
幸 田 町	京ヶ峰岡田病院	05646-2-1421	額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔 8 番地	国鉄岡崎駅より 名鉄バス 「坂崎」下車 徒歩10分

(6) 東三河

市区町名	医療機関の名称	電 話	所 在 地	交 通 案 内
豊 橋 市	岩 屋 病 院	0532-61-6251	豊橋市岩屋町字岩屋下1番地の2	国鉄バス「岩屋病院前」(豊橋駅より 20分、三川駅より8分) 徒歩2分
	可 知 病 院	0532-45-1101	豊橋市弥生町字松原63	豊鉄バス「北山」より徒歩8分
	保 生 会 病 院	0532-52-3828	豊橋市大岡町49番地	豊橋駅より 徒歩15分
市	松 崎 病 院	0532-45-1181	豊橋市三本木町字三本木67	豊鉄バスにて豊橋駅より「ユニ チカ」行終点下車徒歩8分渥美 美線高師駅より徒歩20分
	国立豊橋病院	0532-45-6121	豊橋市中野町字中原100番地	豊鉄バス「国立病院前」より 徒歩2分
	豊橋市民病院	0532-52-6311	豊橋市松葉町三丁目1番地	市内循環バス「豊橋駅」より 徒歩8分
市	大 岩 診 療 所	0532-48-3700	豊橋市浜道町字百々池45番地の32	豊鉄バス「藤並」より徒歩2分
	フ ジ タ 医 院	0532-53-1375	豊橋市小坂町70-16	市内循環バス「前田町二丁目」より 徒歩2分・豊橋駅より徒歩20分
	もりむ内科・神経科	0532-46-1821	豊橋市柱九番町87-2	渥美線 愛大正門前駅より徒歩10分 豊鉄バス「高師1」より徒歩10分
豊 川 市	豊川市民病院	05338-6-1111	豊川市光明町1-19	豊鉄バス「豊川市民病院前」より 徒歩2分
東 栄 町	東栄町国民健康保険 東 栄 病 院	05367-9-3311	北設楽郡東栄町三輪上栗	国鉄飯田線東栄駅より徒歩5分

愛知県医師会長
愛知県精神病院協会会長
愛知県精神神経科診療所医会長 } 様

愛知県衛生部長

保健所における精神科通院医療中断者保健サービス事業
の実施について（通知）

精神保健行政の推進につきましては、^{ご協力}日頃より格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昭和61年5月15日付け健発入618号で厚生省保健医療局からこのことについて、厚生省から別添のとおり通知がありましたので、本県においても、これに対応するため、別添の愛知県保健所精神衛生訪問指導要領に基づき、本事業を実施し、在宅医療等の一層の促進を図ることとしました。

つきましては、精神障害者の継続的な通院医療の重要性に鑑み、本事業の円滑な実施について御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、貴職の会員に対しましても、本事業の周知徹底を併せてお願い申し上げます。

また、本事業の実施に当たりましては、下記の事項に留意されるようお願いいたします。

おつて、精神科医療機関の管理者には、別添(写)のとおり通知いたしました。

記

1 本事業の対象者は、次の要件に該当する者とする。

(1) 精神科医療機関において、訪問指導を要すると認められた通院医療中断者であること。

(2) 当該医療機関から職員を派遣することが困難な者であること。

(3) 当該医療機関において、保健所職員の訪問について、通院医療中断者又はその家族等の了解を得た者であること。

2 精神科医療機関は、文書(別紙様式)^{又は}により、又、緊急を要する場合は電話により、対象者の居住地を管轄する保健所に対し、訪問指導の依頼を行うものとする。

添付書類

厚生省通知の写

保健所訪問指導要領

精神科医療機関管理者あての通知

別紙様式(訪問指導依頼書)

愛知県精神病院協会 加入施設 (34病院)

病 院 名 ・ 電 話	住 所	氏 名
愛 精 病 院	名古屋 (052) 821-7701(代)	木 村 直 忠
一ノ草病院	半 田 (0569) 28-1155(代)	山 口 弘 三
犬 山 病 院	犬 山 (0568) 61-1505(代)	吉 田 弘 道
岩 屋 病 院	豊 橋 (0532) 61-6251(代)	小 林 亮
大 府 病 院	東 浦 (05628) 3-3161(代)	岡 田 つ ね
京ヶ峰 岡田病院	幸 田 (05646) 2-1421(代)	岡 田 庸 男
奥 町 病 院	一 宮 (0586) 62-5860(代)	上 林 弘 和
桶 狭 間 病 院	豊 明 (0562) 97-1361(代)	藤 田 啓 介
笠 寺 精 治 寮 病 院	名古屋 (052) 821-9221(代)	岩 田 充 弘
可 知 病 院	豊 橋 (0532) 45-1101(代)	可 知 義 興
刈 谷 病 院	刈 谷 (0566) 21-3511(代)	中 野 啓 次 郎
北 津 島 病 院	平 和 (05674) 6-3530(代)	野 島 精 二
北 林 病 院	名古屋 (052) 411-6541(代)	石 川 誠 司
共 和 病 院	大 府 (0562) 46-1375(代)	加 藤 邦 之 助
楠 第 一 病 院	名古屋 (052) 901-7581(代)	岩 田 博
結 仁 病 院	名古屋 (052) 771-2151(代)	重 富 廣 一
好 生 病 院	海 部 (0560) 44-3188(代)	請 井 武 士
衣ヶ原病院	豊 田 (0565) 32-0991(代)	加 藤 鈴 幸

佐 藤 病 院	一 宮 (0586) 73-8141(代)	一宮市今伊勢町本神戸字無量寺東17 〒491	佐 藤 純
杉 田 病 院	名古屋 (052) 781-2326	名古屋市千種区田代町瓶伏1-44 〒464	杉 田 英 一 郎
精 治 寮 病 院	名古屋 (052) 741-1231(代)	名古屋市昭和区鶴舞4-16-27 〒466	岩 田 充 弘
東 春 病 院	春日井 (0568) 31-6248	春日井市西高山町字西高山12 〒486	齊 藤 喜 久 治
豊 田 西 病 院	豊 田 (0565) 48-8331(代)	豊田市保見町横山100 〒470-03	坪 井 弘 次
羽 栗 病 院	岡 崎 (564) 48-2005(代)	岡崎市羽栗町字田中26・27・30番合併地 〒444-35	栗 生 敏 春
布 袋 病 院	江 南 (05875) 5-7251(代)	江南市大字五明字郷裏47 〒483	高 倉 兼 蔵
松 蔭 病 院	名古屋 (052) 352-3251(代)	名古屋市中川区打出2丁目70 〒454	安 藤 文 夫
松 崎 病 院	豊 橋 (0532) 45-1181(代)	豊橋市三本木町字元三本木67 〒440	松 崎 進
三 河 病 院	岡 崎 (0564) 51-1778(代)	岡崎市戸崎町字牛転2 〒444	山 田 悠 紀 男
南 知 多 病 院	南知多 (05696) 5-1111(代)	知多郡南知多町大字豊丘字孫廻間86 〒470-34	田 中 徹
南 豊 田 病 院	豊 田 (0565) 21-0331(代)	豊田市広美町郷西80 〒470-12	鈴 木 和 磨
守 山 荘 病 院	名古屋 (052) 791-2133(代)	名古屋市守山区大字守山字北山6 〒463	川 島 保 之 助
八 事 病 院	名古屋 (052) 832-2111(代)	名古屋市天白区天白町大字八事字裏山70 〒468	水 谷 孝 文
矢 作 川 病 院	安 城 (0566) 99-3171(代)	安城市藤井町南山141	飯 島 勲
和 合 病 院	日 進 (05617) 3-1811(代)	愛知郡東郷町大字諸輪字北木戸西108	佐 藤 寛 一

※ 協会長 好生病院 請井武士院長

愛知県精神科診療所医会 加入施設 (10施設)

氏 名	診 療 所 名	〒	住 所
大 橋 恵	大橋クリニック ☎ 052-732-2773	464	名古屋市千種区内山3丁目25の6
木 村 明 靖	木村神経科 ☎ 052-561-0666	450	名古屋市中村区名駅3丁目23-6 第二千福ビル6
武 内 義 哲	武内クリニック ☎ 052-803-1233	468	名古屋市天白町大字島田字山畑 1505天白医療センタービル3
田 所 靖 男	田所クリニック ☎ 052-731-2627	464	名古屋市千種区今池5-2-3
藤 谷 照 代	仁愛診療所 ☎ 052-451-7141	453	名古屋市中村区名駅1-3-7
福 智 正 上	福智クリニック ☎ 052-852-7200	466	名古屋市昭和区御器所通2-24 御器所224ビル2
加 藤 芳 夫	前田病院神経科 ☎ 052-261-7171	460	名古屋市中区栄4丁目13-1
加 藤 久 三	神経科池下 クリニック ☎ 052-763-0127	464	名古屋市千種区高見1丁目26-4 タカミ光ビル202
青 木 勝	青木クリニック ☎ 052-202-1616	460	名古屋市中区錦2丁目16-16 金春ビル3F
藤 田 静 代	藤田医院 ☎ 0532-53-1375	440	豊橋市小坂町70の16
	☎		
	☎		
	☎		

※ 診療所医会長 木村神経科 木村明靖氏

健医発第 618 号

昭和61年5月15日

各 { 都道府県知事
政令市長
特別区長 } 殿

厚生省保健医療局長



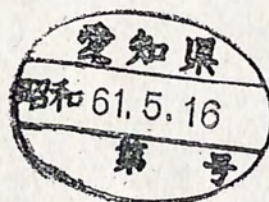
保健所における精神衛生業務中の
訪問指導について

保健所にあつては、「保健所における精神衛生業務運営要領」(昭和41年2月11
日衛発第76号)により、地域における第一線の行政機関として、精神保健諸活動
の中心となり、関係諸機関との緊密な連絡協調のもとに精神障害者の早期発見、早

期治療の促進及び精神障害者の社会適応を援助するための活動として、相談及び訪問指導を積極的に実施してきたところである。

・今般、昭和61年4月1日から社会保険診療報酬改定により、別添資料に示すように、精神科訪問看護・指導料が新設され、精神科医療機関の医師が入院中の患者以外の精神障害者である患者又はその家族等の了解を得て、当該医療機関の保健婦又は看護婦等を訪問させ、患者又は家族等に対して看護又は社会復帰指導等療養上必要な指導を行った場合に、精神科医療機関は、保険請求ができることとなった。

については保健所においても、精神障害者の継続的な通院医療の重要性に鑑み、医療機関による訪問看護・指導の実施にあわせて、医療機関と緊密な連携のもとに別添「精神科通院医療中断者保健サービス事業実施要領」により保健所の訪問指導を推進し、在宅医療等の一層の促進を図ることとしたので、その円滑な実施について、遺憾のないようご配意願いたい。





健医発第 619 号
昭和61年5月15日

(社)日本医師会長
(社)日本精神病院協会会長
日本精神神経科診療所医会長 } 殿

厚生省保健医療局長

保健所における精神科通院医療中断者
保健サービス事業の実施について

精神保健行政の推進につきましては、日頃より格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今般、昭和61年4月1日から社会保険診療報酬改定により精神科訪問看護・指導料が新設され、精神科医療機関の医師が入院中の患者以外の精神障害者である患者又はその家族等の了解を得て、当該医療機関の保健婦又は看護婦等を訪問させ、看護又は療養上必要な指導を行わせた場合に、精神科医療機関は、保険請求ができることとなりました。

これに伴い精神障害者の継続的な通院医療の重要性に鑑み、精神科医療機関の職員の訪問看護・指導を補完する観点から、別添通知のとおり「精神科通院医療中断者保健サービス事業」を保健所において実施し、在宅医療等の一層の促進を図ることとしております。

つきましては、貴職におかれましても本事業の目的を十分御理解いただき、特段の御配意をもって御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、貴職の会員に対しましても本事業の周知徹底方併せてお願い申し上げます。

また、本事業の実施に当たりましては、下記事項に留意されるよう併せてお願い申し上げます。

記

1 本事業の対象者は、次の要件に該当する者とする。

- (1) 精神科医療機関において、訪問看護又は訪問指導を要すると認めた「医療中断者」であること。
- (2) 当該医療機関から職員を派遣することが困難な者であること。
- (3) 当該医療機関により、保健所職員の訪問について、「医療中断者」又はその家族等の了解が得られた者であること。

2 精神科医療機関は、文書(別紙様式)により、又、緊急を要する場合には電話により、当該医療機関の管轄の保健所に対し、訪問指導の依頼を行うものとする。

なお、当該対象者に対する訪問指導は、当該対象者の居住地の管轄保健所が行うこととなっていること。

別添

精神科通院医療中断者保健サービス事業実施要領

1 目 的

精神科通院医療中断者保健サービス事業は、通院医療を継続する必要があるにもかかわらず、定期的な受診・服薬を行うことができない精神障害者(以下「医療中断者」という。)に対し、精神衛生相談員及び保健婦等保健所職員による訪問指導を実施することにより、在宅医療の一層の推進を図るとともに社会復帰の促進を図ることを目的とする。

2 実施保健所

精神科医療機関から、直接、又は当該精神科医療機関の管轄の保健所を経由して、「医療中断者」に対する訪問指導の依頼を受けた保健所とする。

3 訪問指導対象者

本事業の対象者は、次の要件に該当する者とする。

- (1) 精神科医療機関において、訪問看護又は訪問指導を要すると認めた「医療中断者」であること。
- (2) 当該医療機関から職員を派遣することが困難な者であること。
- (3) 当該医療機関により、保健所職員の訪問について、「医療中断者」又はその家族等の了解が得られた者であること。

4 本事業の実施方法

「医療中断者」に対する訪問指導は、次により実施するものとする。

- (1) 保健所は、文書(別紙様式)により、又、緊急を要する場合には電話により、精神科医療機関からの訪問指導の依頼を受け付けること。
- (2) 当該保健所は、当該保健所の管轄区域以外に居住している訪問指導対象者については、その管轄保健所に対して速やかに訪問指導の依頼を行うこと。
なお、当該保健所は、訪問指導の依頼を行う場合、精神科医療機関からの依頼文書等を併せて送付すること。
- (3) 精神科医療機関から、直接、又は当該医療機関の管轄の保健所を経由して、訪問指導の依頼を受けた保健所は、速やかに当該医療機関の主治医等と連絡をとり、訪問指導に必要な情報の収集に当たること。
- (4) 「医療中断者」を訪問した精神衛生相談員及び保健婦等保健所職員は、定期的な受診の勧奨、服薬継続の重要性等について本人又は家族等に指導を行い、治療の継続を図ること。
また、訪問に際しては、生活指導、職業に関する指導、家族間や職場等環境の調整に関する援助等を併せ行うこと。

- (5) 訪問指導に関する記録等の整備保管については、「保健所における精神衛生業務運営要領」(昭和41年2月11日衛発第76号)により行うこと。

5 訪問指導実施上の留意事項

- (1) 精神衛生相談員及び保健婦等保健所職員は、「医療中断者」又は家族等の了解のもとに訪問指導を行うものであり、本事業の実施に当たっては「医療中断者」の秘密保持に最大限の配慮を払うこととする。
- (2) 精神衛生相談員及び保健婦等保健所職員は、訪問指導実施にあたっては、主治医等の医学的指導のもとにこれを行い、訪問した事項について、その都度速やかに、主治医等に報告する等、精神科医療機関と十分連携を図ることとする。

別紙様式

精神科通院医療中断者訪問指導依頼書

年 月 日

保健所長 殿

所在地(電話)

医療機関名

管理者氏名

印

精神科通院医療中断者の訪問指導をお願いします。

患者	病 名				
	フリガナ氏 名				
	住 所			電話	
	最後の受診日	年	月	日	備考
	過去の入院歴	年	月	日	～ 年 月 日 年 月 日 ～ 年 月 日
保護義務者	フリガナ氏 名			続柄	
	住 所			電話	
訪問指導に意あした項	主治医氏名			了解した者の氏名	
	通院中の状態及び家族の状況				
	その他留意事項				
	備 考				

別添資料

精神科訪問看護・指導料

200点

注 入院中の患者以外の精神障害者である患者又はその家族等に対して、当該患者を診察した精神科を標榜する保険医療機関の保健婦、看護婦等を訪問させて、看護又は療養上必要な指導を行わせた場合に、週1回を限度として算定する。

(昭和61年3月15日厚生省告示第35号の抜すい)

精神科訪問看護・指導料

- (1) 今回新設された精神科訪問看護・指導料は、精神科を標榜している保険医療機関において精神科を担当している医師が、精神障害者たる入院中以外の患者又はその家族等の了解を得て、当該保険医療機関の保健婦、看護婦等を訪問させ、患者又は家族等に対して看護・社会復帰指導等を行った場合に算定するものであること。
- (2) 精神科訪問看護・指導料の算定は、週1回を限度とすること。
- (3) 医師は、保健婦、看護婦等に対して行った指示内容の要点を診療録に記載すること。
- (4) 保健婦、看護婦等は、医師の指示に基づき行った指導の内容の要点を記録にとどめておくこと。
- (5) 保険医療機関は、精神科訪問看護・指導の実施に当たっては、保健所の実施する訪問指導事業との連携に十分配慮すること。

(昭和61年3月15日保険発第18号厚生省保険局医療課長、厚生省保険局歯科医療管理官連名通知の抜すい)

（施行 昭和58年4月1日）
（改正施行 昭和56年4月1日）
（改正施行 昭和58年4月1日）

保健所精神衛生管理要領

1. 目的

この要領は、保健所管内で精神衛生上の問題を有する者について帳票を作成、整備、保管し、地域精神衛生活動の基礎資料として、住民の精神的健康に関する指導の充実及び実態のは握を図ることを目的とする。

2. 帳票

「精神衛生把握台帳」（以下「把握台帳」という。）は、別紙様式1、「精神衛生基礎票」（以下「基礎票」という。）は、別紙様式2、「相談記録」は、別紙様式8によるものとする。

3. 対象

「把握台帳」は、精神衛生上の問題を有する者について作成し、「基礎票」は、「保健所精神衛生訪問指導要領」による訪問指導対象者のみについて作成する。

また、「相談記録」にあっては、精神衛生に関する相談に来所した者について作成するが、必要に応じて、「把握台帳」も作成するものとする。

4. 作成

帳票は、精神衛生担当職員が作成する。

5. 移籍

「基礎票」に登録された者が、県内の他の保健所管内（名古屋市を除く）に転出したときは、当該転出先の保健所に「基礎票」の写しを送付するものとする。

6. 抹消

次の各号の一に該当するときは、「把握台帳」「基礎票」にその旨を記載し、抹消するものとする。

- (1) 死亡した時。
- (2) 県外に転出した時。
- (3) 状況不明のまま5年を経過した時。
- (4) 精神衛生上の問題が解消され、訪問の必要がないと判断された時。

7. 移籍、抹消した「基礎票」の保管

移籍、抹消した「基礎票」は、8年間別途保管するものとする。

8. 責任者

帳票の管理責任者は、保健予防課長とする。

9. 報 告

保健所長は、精神衛生上の問題を有する者については握状況を「精神衛生活動状況報告書」(別紙様式4)により各四半期ごとに速やかに衛生部長に報告するものとする。

10. その他

この「保健所精神衛生管理要領」に定めのない事項は、保健所の実状に応じて定めるものとする。

保 健 所 精 神 衛 生 訪 問 指 導 要 領

1. 目 的

この要領は、精神衛生上の問題を有する者について実状をは握し、本人及びその家族等に対して、適切な指導・援助を行うことにより精神的健康の保持及び向上を図ることを目的とする。

2. 対象者

訪問指導の対象者は、精神衛生上の問題を有する者で保健所長が訪問指導の必要があると認めた者とする。

3. 担当者

訪問指導は、関係者が会議を行いその具体的方針を立て、保健予防課長の承認を受けるものとする。その方針に基づいて保健予防課長は最も適当である者を訪問指導の担当者に決定する。

(1) 精神衛生相談員

精神衛生相談員(以下「相談員」という。)は、精神衛生基礎票(以下「基礎票」という。)を新たに作成した者について先行的調査を行う。この先行的調査は対象者の訪問指導の方針を検討するために、必要な資料を得ることを目的とするものである。

相談員による訪問指導は医療機関、社会福祉関係諸機関などの活用、就労援助など社会復帰への指導を主としたものとする。

(2) 保健婦

保健婦による訪問指導は、現状は握、受療促進、生活指導、家族及び周囲の環境調整を主としたものとする。

(3) 医 師 (嘱託医等)

医師とともに訪問指導を行う必要のある次の場合は、特に主治医との関連に留意すること。

ア 診断的要素が必要とされる場合

イ 直ちに医療を必要とする場合

ウ 複雑困難な事例の場合

4. 記 録

訪問指導実施後は、ただちに「基礎票」にその概要ならびに予定する処遇の記載を行うもの

とする。

5. 報 告

保健所長は、訪問指導状況を「精神衛生活動状況報告書」（別紙様式4）により各四半期毎にすみやかに衛生部長に報告するものとする。

6. その他

- (1) 当分の間、相談員のいない保健所にあつては、保健婦も先行的調査を含めて訪問指導を行うものとする。
- (2) この「保健所精神衛生訪問指導要領」に定めのない事項は、保健所の実状に応じて定めるものとする。

保健所精神衛生相談員業務要領

1. 目 的

この要領は、精神衛生法第42条の規定にもとづく精神衛生相談員（以下「相談員」という。）が保健所において業務を行うにあたって、必要な事項を定めるものとする。

2. 体 制

保健所における精神衛生活動の総括は、所長が行い、精神衛生業務は保健予防課長が掌理する。

3. 運 営

保健所における精神衛生業務の運営は、所長、次長、保健予防課長、事業担当主査、保健婦担当主査、相談員、保健婦、精神衛生嘱託医等の関係職員によって構成される精神衛生企画会議（以下「企画会議」という。）によって企画調整することが望ましい。

また、先行的調査、訪問指導、精神衛生相談等の事例に関し処遇の方針・結果等について関係職員による事例検討会を定期的に設け、十分な連携のもとに問題の解決を図るものとする。

4. 相談員

相談員は精神衛生業務が円滑に展開されるようその活動について、保健予防課長の指示に基づいて実施するとともに、実施内容については遅滞なく報告を行うものとする。

5. 相談員の業務

(1) 実態のは握

地域の精神衛生をは握するために必要な情報・資料の収集と解析を行い、地域の保健活動において適切な問題提起ができるようにすること。

(2) 精神衛生援助活動

ア 精神衛生相談

- (イ) 医師とともに担当し、必要に応じて保健婦の参加を求めるものとする。

- (ロ) 処遇方針の決定したものについて具体化をすすめること。

特に生活の場における処遇を必要とするものについては、保健婦の全面的な協力を求めるものとする。

イ 訪問指導

- ・「保健所精神衛生訪問指導要領」によるものとする。

(3) 衛生教育および協力組織の育成・援助

ア 精神衛生に関する衛生教育の目的は、住民個々の精神的健康問題の解決を促進させ、地域社会全体の精神的健康の向上を計るものであるが、それを行うにあたって、相談員が企画に参加し、情報、資料を提供して、有効的に衛生教育が実施されるよう努めること。

イ 協力組織の育成・援助については、指導チームの一員として積極的に関与すること。

(4) 集団指導

地域の実状に応じて集団指導をすることが望ましい。

(5) 関係機関との連携

ア 精神衛生センター

保健所が精神衛生活動をすすめるに際して、特に専門的技術援助を必要とする場合には、精神衛生センターに協力を求めること。具体的には、企画会議、事例検討会への参加、複雑・困難な事例の処遇依頼、統計および資料の処理、調査研究、広報普及活動の指導、協力組織の育成強化への援助を求めること等である。

イ 医療機関

ケースの処遇に関連する医療機関に対しては、あらかじめ当該医療機関の医師の意見を聞くなど、常に医療機関との連携をとって精神衛生活動をすすめること。

ウ 市町村

市町村で保健計画が立てられる際には、地域精神衛生の専門家として参加することが望ましい。また、市町村担当課・係とは、地域精神衛生活動の進め方や、ケースの処遇について十分に検討し、協力しあう体制をつくること。

エ 児童相談所

児童福祉法に定める施設を利用する場合、児童の精神障害の程度を判定する場合等、児童相談所の協力を求めることが多い。この場合の連絡は、主として相談員が行う。

オ その他の関係機関

地域団体、教育、福祉、労働衛生、医療、報道等諸機関に対しては、精神衛生活動について理解と協力を求め、資料の配布、知識の普及、打合会の開催等の連絡協調が行われ、ケースの処遇等必要がある場合は、円滑な協力が得られるように努めること。

(6) その他

この「保健所精神衛生相談員業務要領」に定めのない業務については、保健所の実状に応じて定めるものとする。

愛知県保健所精神衛生訪問指導要領 (改正案)

1 目的

この要領は、精神障害者及び精神衛生上の問題を有する者並びにその家族に対し、訪問指導を行い、本人の状況、家庭環境、社会環境等の実情を把握し、適切な指導援助を行うことにより、医療の適正な確保を図るとともに、家庭及び社会環境の調整を図り、社会適応の促進に努めることを目的とする。

2 対象者

訪問指導の対象者は、次に掲げる者で保健所長が必要と認めた者とする。

- (1) 精神衛生鑑定医の診療の結果、精神障害者と診断され、必要な医療を受けていない者
- (2) 措置入院が解除され退院した者及び同意入院して退院した者
- (3) 通院医療費の公費負担を受けている者
- (4) 仮退院中の者
- (5) 通院医療を継続する必要があるが、定期的な受診服薬を行うことができない精神障害者(通院医療中断者)であつて、精神科医療機関から訪問指導の依頼があつたもの
- (6) 前条以外の者で、家族等から訪問指導の依頼があつたもの

3 担当職員及び職務内容

(1) 保健予防課長

保健予防課長は、訪問指導が円滑かつ効果的に実施されるよう、精神衛生相談員(以下「相談員」という。)及び保健婦に対して、適切な指示を与えるものとする。

(2) 相談員及び保健婦

相談員及び保健婦は、対象者について訪問指導を行い、実施後は、~~カードに~~「基礎票」にその概要^{及び}予定する処遇を記載のうえ、保健予防課長に^{遅滞なく}報告するものとする。

なお、精神衛生嘱託医及び関係機関等との連絡調整については、相談員が主として行うものとする。

(3) 精神衛生嘱託医

精神衛生嘱託医は、相談員及び保健婦の訪問指導にあつて技術的指導を行うとともに、必要に応じて訪問指導を行うものとする。

4 訪問指導の実施方法

(1) 訪問指導の計画

訪問指導を~~行~~にあつては、事前に「基礎票」に基づいて対象者の概^{問題点}、~~対象事例の難易~~、緊急性、地理的事情等を考慮して、関係職員で検討のうえ、合理的な訪問指導の計画を樹立すること。

(2) 訪問指導の内容

- ア 医療の継続^{及び}受診の指導、服薬継続の指導
- イ 生活指導及び職業に関する指導
- ウ 家庭及び社会的^{及び}経済的環境の調整指導

エ 社会復帰の接点

(3) 関係機関との連携

ア 訪問指導を行う場合は、^{必要に応じて}事前に関係医療機関の主治医等と連絡をとり、^{対象者に関する}訪問指導に必要となる情報を整理するとともに、主治医等の医学的指導を求めるものとする。

また、~~訪問指導実施後~~は、必要に応じて速やかに主治医等に状況を連絡する。また、^{必要に応じて}精神科医療機関と十分な連携を図るものとする。

イ 訪問指導を行う場合は、社会福祉関係機関等と緊密な連携を保ち、社会資源の有効な活用を図るものとする。

ウ 複雑困難なケースについては、精神衛生センターと緊密な連絡をとりながら対応していくものとする。

(4) 実施上の留意事項

ア 訪問指導は、原則として対象者、又は家族等の事前の了解のもとに行うものとする。

イ 訪問指導は、対象者とその家族等の秘密に関する事項の取扱いに十分に注意するものとする。

5 報告

保健所長は、訪問指導状況を「精神衛生活動状況報告書」(別添様式4)により、^{必要に応じて}各四半期に速やかに報告するものとする。

6 その他

この「保健所精神衛生訪問指導要領」に定めのない事項は、保健所

の要状に応じて定めるものとする。

精神衛生活動状況報告書

昭和 年 第 四半期 保健所

1 精神衛生相談・訪問指導状況

取扱者	精神衛生相談															訪問指導														
	日数	実人員				延人員										日数	実人員				延人員									
		39才以下	64才以下	65才以上	計	39才以下	64才以下	65才以上	計	精神分裂病	アルコール中毒	覚せい剤中毒	老人性精神障害	左脳以外の精神障害	その他(精神障害でない者)		計	39才以下	64才以下	65才以上	計	精神分裂病	アルコール中毒	覚せい剤中毒	老人性精神障害	左脳以外の精神障害	その他(精神障害でない者)	計		
精神衛生相談員	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人			
保健婦	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人			
医師	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人			
その他	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人			
計	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人			

(訪問指導状況の対象者区分は別添による)

2 衛生教育活動状況

項目	形式	講演・講習会	関係機関連絡会議	集団指導	広報、普及活動	その他
開催月日						
内容						
対象者						
対象者参加人員						
従事者						

3 把握状況

4 その他

件

(別添)

訪問指導状況

対象者 区分	実 人 員				延 人 員			
	相談員	保健師	医師	計	相談員	保健師	医師	計
(1)	人	人	人	人	人	人	人	人
(2)	人	人	人	人	人	人	人	人
(3)	人	人	人	人	人	人	人	人
(4)	人	人	人	人	人	人	人	人
(5)	人	人	人	人	人	人	人	人
(6)	人	人	人	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人	人	人	人

対象者区分

- (1) 精神衛生鑑定医の診療の結果、精神障害者と診断され、必要な医療を受けていない者。
- (2) 措置入院が解除され退院した者及び同意入院して退院した者。
- (3) 通院医療費の公費負担を受けている者。
- (4) 仮退院中の者。
- (5) 通院医療を継続する必要があるが、定期的な受診・服薬を行うことができない精神障害者(通院医療中断者)であって、精神科医療機関から訪問指導の依頼があったもの。
- (6) 前記以外の者で、家族等から訪問指導の依頼があったもの。

現行の要領

保健所精神衛生訪問指導要領

1. 目的

この要領は、精神衛生上の問題を有する者について実状をは握し、本人及びその家族等に対して、適切な指導・援助を行うことにより精神的健康の保持及び向上を図ることを目的とする。

2. 対象者

訪問指導の対象者は、精神衛生上の問題を有する者で保健所長が訪問指導の必要があると認めた者とする。

3. 担当者

訪問指導は、関係者が会議を行いその具体的方針を立て、保健予防課長の承認を受けるものとする。その方針に基づいて保健予防課長は最も適当である者を訪問指導の担当者に決定する。

(1) 精神衛生相談員

精神衛生相談員（以下「相談員」という。）は、精神衛生基礎票（以下「基礎票」という。）を新たに作成した者について先行的調査を行う。この先行的調査は対象者の訪問指導の方針を検討するために、必要な資料を得ることを目的とするものである。

相談員による訪問指導は医療機関、社会福祉関係諸機関などの活用、就労援助など社会復帰への指導を主としたものとする。

(2) 保健婦

保健婦による訪問指導は、現状は握、受療促進、生活指導、家族及び周囲の環境調整を主としたものとする。

(3) 医師（嘱託医等）

医師とともに訪問指導を行う必要のある次の場合は、特に主治医との関連に留意すること。

ア 診断的要素が必要とされる場合

イ 直ちに医療を必要とする場合

ウ 複雑困難な事例の場合

4. 記録

訪問指導実施後は、ただちに「基礎票」にその概要ならびに予定する処遇の記載を行うもの

とする。

5. 報 告

保健所長は、訪問指導状況を「精神衛生活動状況報告書」（別紙様式4）により各四半期毎にすみやかに衛生部長に報告するものとする。

6. その他

- (1) 当分の間、相談員のいない保健所にあつては、保健婦も先行的調査を含めて訪問指導を行うものとする。
- (2) この「保健所精神衛生訪問指導要領」に定めのない事項は、保健所の実状に応じて定めるものとする。

精神衛生活動状況報告書

昭和 年 第 四半期 保健所

1 精神衛生相談・訪問指導状況

取扱者	精神衛生相談																訪問指導																	
	日数	実人員				延人員												日数	実人員				延人員											
		39才以下	64才以下	65才以上	計	39才以下	64才以下	65才以上	計	精神分裂病	アルコール中毒	覚せい剤中毒	老人性精神障害	左記以外の精神障害	その他(精神障害でない者)	計	39才以下		64才以下	65才以上	計	39才以下	64才以下	65才以上	計	精神分裂病	アルコール中毒	覚せい剤中毒	老人性精神障害	左記以外の精神障害	その他(精神障害でない者)	計		
精神衛生相談員	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
保健婦	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
医師	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
その他	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
計	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	

2 衛生教育活動状況

項目	形式	講演・講習会	関係機関連絡会議	集団指導	広報、普及活動	その他
開催月日						
内容						
対象者						
対象者 参加人員						
従事者						

3 把握状況

件

4 その他